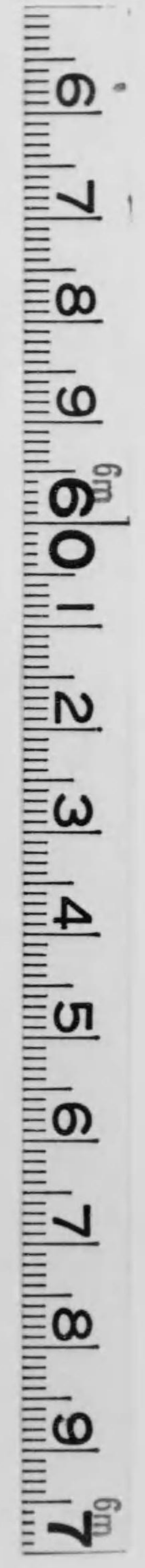


396
20

手旗信号法



始

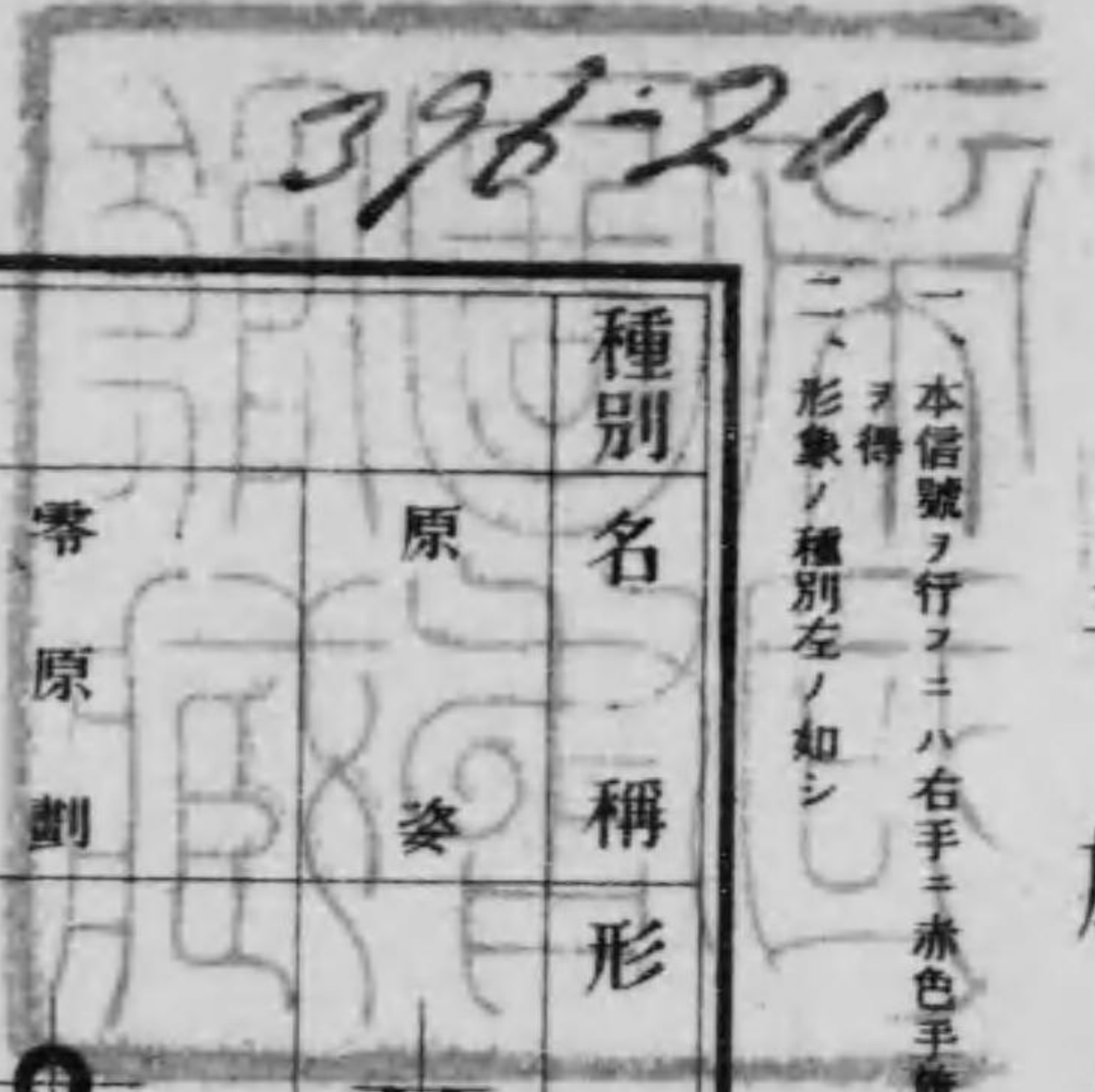


海軍教育本部檢閱濟

手
旗
信
號
法

手旗信號法

本信號ヲ行フニハ右手ニ赤色手旗左手ニ白色手旗ヲ把持スルヲ例トスルモ
 向其ノ他適當ノ又ハ赤手ヲ以テスルコト
 一、形像ノ種別左ノ如シ



種別名		稱形		象方	
原	姿	II	象	ル	兩手ヲ垂直ニ垂
第一原則	一	—	象	ク	右手ヲ以テ垂下ノ位置ヨリ左方ニ廻シ一圓ヲ畫ク
第二原則	二	+	象	ク	左手ヲ垂レ右手ヲ垂直ニ出ス 但シテノ第二條ヲ作爲スルトキニ限リ右手ヲ垂レ左手ヲ垂レ
第三原則	三	↙	象	ク	左手ヲ左四十五度上右手ヲ右四十五度下ニ出ス
第四原則	四	↘	象	ク	右手ヲ右四十五度上左手ヲ左四十五度下ニ出ス
第五原則	五	⊥	象	ク	兩手ヲ頭上ニ交叉ス

正 大
 1 2 2
 内 交
 法 用

正 大
 1 2 2
 内 交
 法

象		形			
第六原則	六	二	象	ク	右手ヲ右方水平ニ左手ヲ頭上ヨリ右方水平ニ出ス
第七原則	七	L	象	ク	右手ヲ垂直ニ揚ケ左手ヲ左方水平ニ出ス
第八原則	八	T	象	ク	左手ヲ垂レ右手ヲ右方水平ニ出ス
第九原則	九	7	象	ク	右手ヲ右方水平ニ左手ヲ右手ノ下約三十五度ノ俯角ニ出ス
第十原則	十	V	象	ク	兩手ヲ左右四十五度ノ仰角ニ揚
第十一原則	十一	///	象	ク	兩手ヲ左方四十五度上ヨリ右方四十五度下ニ振下ス
第十二原則	十二		象	ク	兩手ヲ垂直ニ揚
濁點	濁	+	象	ク	清音形象表示後直ニ左手ヲ四十五度ノ仰角ニ揚
半濁點	半濁	+	象	ク	清音形象表示後直ニ右手ヲ四十五度ノ仰角ニ揚

交 信			象					
起 信	半 濁 點	濁 點	第十二原則	第十一原則	第十原則	第九原則	第八原則	第七原則
兩手ヲ同時ニ並行ニ上下ニ振ルコト數回	清音形象表示後直ニ左手ヲ四十五度ノ仰角ニ揚ク	清音形象表示後直ニ右手ヲ四十五度ノ仰角ニ揚ク	兩手ヲ垂直ニ揚ク	兩手ヲ左方四十五度上ヨリ右方四十五度下ニ振下ス	兩手ヲ左右四十五度ノ仰角ニ揚ク	右手ヲ右方水平ニ左手ヲ右手ノ下約三十五度ノ俯角ニ出ス	左手ヲ垂レ右手ヲ右方水平ニ出ス	ケ左手ヲ左方水平ニ出ス
信號ヲ始ムルコトヲ表ハス								

記 號 形 象					區 別 形 象							
歸 除 線	讀 點	小 括 弧	括 弧	數 (一名白旗) 字	新 章	句 點	略 語	解 信	終 信	一 部 消 信	消 信	應 信
第十一原則ヲ作爲ス	左手ヲ垂レ右手ヲ右方四十五度ノ俯角ニ出ス	右手ヲ垂レ左手ヲ左方水平ニ出ス	兩手ヲ左右下方四十五度ノ俯角ニ出ス	左手ヲ左方四十五度ノ仰角ニ揚ク	第七原則ヲ作爲ス	右手ヲ右方四十五度ノ仰角ニ揚ク	兩手ヲ左右下方四十五度ノ位置ニ出シ之ヲ下方ニ交叉スルコト一、二回	兩手ヲ垂直ニ揚ケ並行セル儘左右ニ振ルコト數回	第十二原則ヲ作爲ス	右手ヲ四十五度ノ仰角ニ揚ケ左右ニ振ルコト數回	兩手ヲ交々上下ニ振ルコト數回	兩手ヲ交々上下ニ振ルコト數回
數字形象内ニ分數ヲ挿入セントスルトキ分子ト分母間ニ本形象ヲ置ク	數字形象内ノ數字間ニ小數若ハ分數ヲ挿入セントスルトキ本形象ヲ其ノ前ニ置ク	母字ヲ表ハサントスルトキ本形象ヲ其ノ前後ニ附ス		信文中ニ數字ヲ挿入セントスルトキハ此ノ形象ヲ前後ニ置キ其間ニ所要數字ニ相當スル番號ノ原則等ヨリ九ニ至ル迄ヲ作爲ス	別個ノ信號ノ區切ヲ表ハス	信文ヲ數句ニ區切ルニ用ウ	略語信號ヲ用ウル場合本形象ヲ其ノ前後ニ附ス	信號了解ヲ表ハス	信號終了ヲ表ハス	送信中一誤字又ハ句點、新章、數字、括弧、小括弧ヲ作爲シタル後ノ信文全體ヲ取消ストキニ用ウ	信號取消ヲ表ハス	信號ニ應スルコトヲ表ハス

備考 數字形象、讀點、歸除線使用ノ一例ヲ示ス
「距離五厘四分ノ三東」ヲ表スニハ
「キヨリ、數字形象、第五原則、讀點、第三原則、歸除線、第四原則、數字形象、マイルヒガシ」トスルカ如シ

三、片假名形象ハ左表ニ示ス如ク第一乃至第十二原則ヲ組合セテ之ヲ表ハス一字ヲ作爲スルニハ一動ヨリ直ニ次動ニ移リ終ラハ直ニ原姿ニ復シ次ノ字ニ移ルモノトス

形象組合順序											
第一動	第二動	第三動									
一	ノ	フ		L	└	、	＝	ハ	L	ノ	
フ	L	、		└	、	└			└	└	
							ハ	ハ			
ヲ(オ)	ル	ヌ	リ	チ	ト	ヘ	ホ	ニ	ハ	ロ	イ
J	<small>一ヲ表ハスニハ濁點形兼ヲ以テス</small>	H	G	F		E	D	C	B		A
和音名稱 母字名稱											

形象組合順序											
第一動	第二動	第三動									
＝	一	フ	＝	一	└	フ	L	フ	└	、	ノ
		、	一	L	L	L	L	一	、	、	
								一			
キ	サ	ア	テ	エ(エ)	コ	フ	ケ	マ	ヤ	ク	ノ
										Z	Y
										X	W
										V	
和音名稱 母字名稱											

、	L	、	一	フ		、	L	、	└	└	└
└	、	フ	ノ	└	ノ	ノ	、	＝	ノ	フ	
フ				一							
ウ	ム	ラ	ナ	子(ネ)	ツ	ソ	レ	タ	ヨ	カ	ワ
U	T	S	R	Q	P		O	N	M	L	K

＝	└	、	一	フ	＝	一	、	＝	ノ	フ
			一	L	L	L	L	一	、	一
			、							
キ	(長音)	ン	寸(ス)	セ	モ	ヒ	シ	ミ	メ	ユ

四、交信法
備考 和音名稱ノ前後ニ小括弧ヲ附スルトキハ之ヲ母字名稱トシテ解讀スヘキモノトス

イ、起信 起信者ハ起信形象ヲ振リテ受信者ヲ指呼ス
若受信者名ヲ表示スルノ必要アルキハ起信形象ニ續テ受信者名ヲ作爲ス
ロ、受信 受信者ハ起信形象ヲ振リテ之ニ應ス

、	L	、	-	7		、	L
	、	7	/		/	/	
7				-			
ウ	ム	ラ	ナ	子(ネ)	ツ	ソ	レ
U	T	S	R	Q	P		O

=		、	-	7	=	-
			-		L	L
			、			
平	(長音)	ン	寸(ス)	セ	モ	ヒ

四、交信法

- 備考 和音名稱ノ前後ニ小括弧ヲ附スルトキハ之ヲ母字名稱トシテ解讀スヘキモノトス
- イ、起信 起信者ハ起信形象ヲ振リテ受信者ヲ指呼ス
若受信者名ヲ表示スルノ必要アルキハ起信形象ニ續テ受信者名ヲ作爲ス
- ロ、受信 受信者ハ起信形象ヲ振リテ之ニ應ス
若同一方向ヨリ二者以上ノ起信者アル場合其ノ何レニ對スル應信ナルヤヲ明示スルノ必要アルトキハ起信者名ニ續テ應信形象ヲ振ルモノトス
- ハ、送信及解信 起信者ハ受信者ノ應信ヲ見ハ所要ノ信號ヲ送り終レハ終信形象ヲ表示シ受信者ハ解信形象ヲ振ルモノトス

但シ長文ノ信號ハ之ヲ數句(章)ニ分チ各句(章)毎ニ受信者ノ解信ヲ得テ送信スルヲ例トス此ノ場合起信者ハ句點(新章)形象ヲ表示シ受信者ノ同一形象ヲ以テ之ニ應スルヲ待チ次句(章)ニ移ルモノトス

二、消信及再送

- a、起信者送信中一誤字ヲ生シタルトキ
直ニ一部消信形象ヲ振リ受信者ノ同一形象ヲ以テ之ニ應スルヲ見其ノ誤字又ハ其ノ數字前ヨリ繰返シ送信ス
- b、受信者受信中不明ノ一字ヲ生シタルトキ
直ニ一部消信形象ヲ振リ起信者ハ同一形象ヲ以テ之ニ應シ該數字前ヨリ繰返シ送信ス
- c、起信者句點、新章、數字、括弧、小括弧等ノ記號形象ヲ表示シタル後其ノ記號以下ノ部分ヲ取消シ再送セムトスルトキ
- d、一部消信形象ニ續テ該記號形象ヲ表示シ受信者ノ同一形象(一部消信形象ニ續テ該記號形象)ヲ以テ之ニ應スルヲ見再送ス
- e、起信者現ニ爲シツアル信號全部ヲ取消シ再送セムトスルトキ
- f、起信者送信中途ニ其ノ信號全部ヲ取止メムトスルトキ
消信形象ヲ振リ受信者ノ同一形象ヲ以テ之ニ應スルヲ見終信形象ヲ表示ス此ノ時受信者モ亦終信形象ヲ以テ之ニ應答ス
- g、受信者受信中途若ハ終信後其ノ信號全部ヲ取消シ最初ヨリ繰返ヲ要求セムトスルトキ
消信形象ニ續テ應信形象ヲ振リ起信者ハ消信形象ニ續テ起信形象ヲ振リ再送ス

五、繼信法

起受兩信者相互ニ信號ノ通視困難ナルトキハ介在者ハ左ノ方法ニ依リ信號中繼ノ任ニ當ルモノトス
中繼者ハ應信形象ニ續テ受信者名ヲ振リ繼信ヲ表示シ起信者ハ之ニ對シ送信シ終ラハ中繼者ハ受信者ヲ指呼シ其ノ應信ヲ得ハ起信者名、請點、受信者名ヲ振リ續テ所要ノ信文ヲ傳フルモノトス
起信者ニ於テ最初ヨリ中繼者ヲ指定シタルトキハ中繼者ハ亦右ニ準シ繼信ヲ行フモノトス

大正九年十一月廿日印刷
大正九年十一月廿三日發行

(手紙信號法適用)(定額金五錢)



發行所

東京市麹町區車町四番地
兵用圖書株式會社

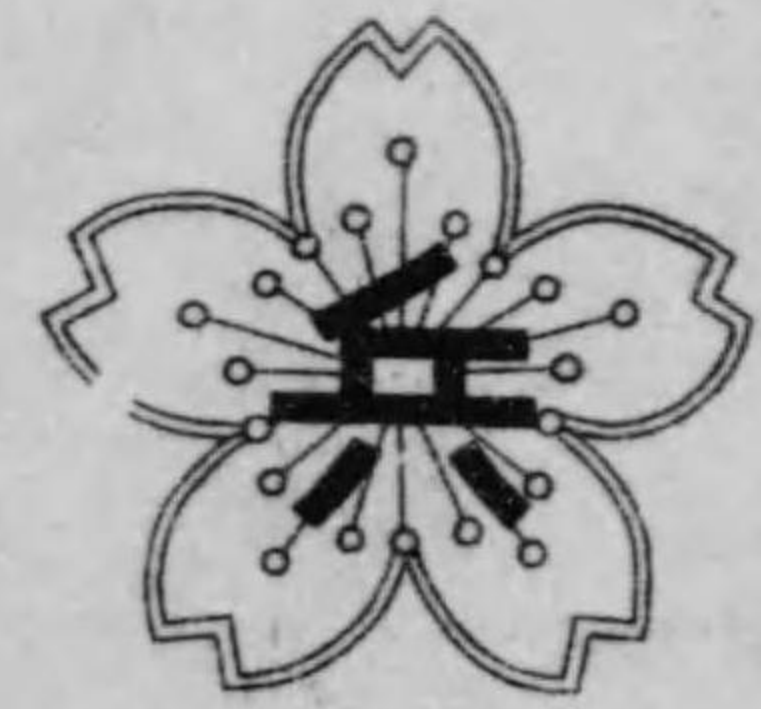
電話九段八五〇番
電話新橋九四一番

印刷者

東京市麹町區車町四番地
兵用圖書株式會社
代表者 小林 又七

印刷所

東京市麹町區車町四番地
小林 又七
電話九段四一九番
電話九段八五〇番
電話新橋九四一番



396
20

終

